

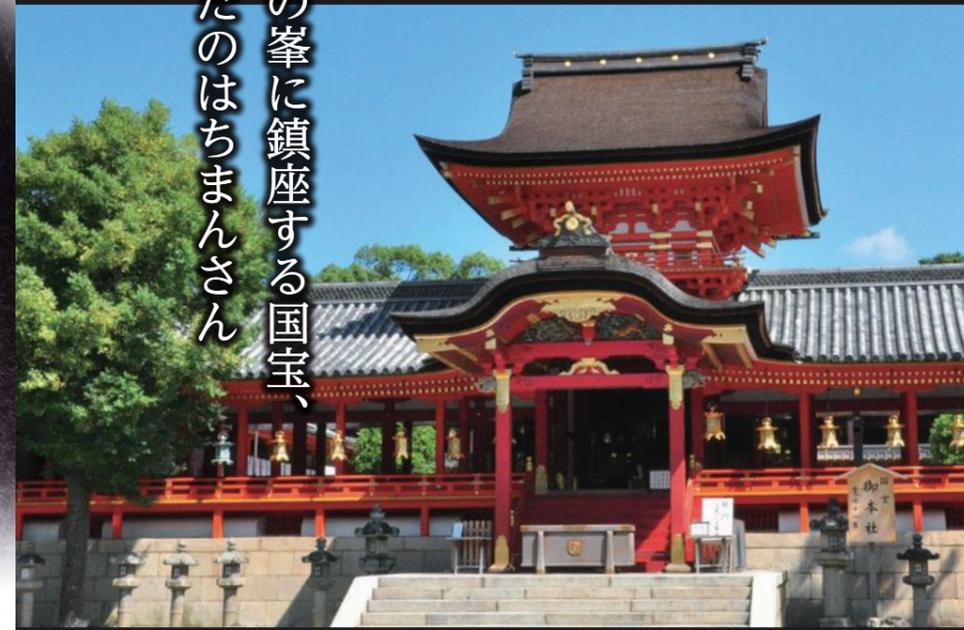
歴史散策

現代へ受け継がれる文化財を尊ぶ

八幡市には多くの歴史遺産が受け継がれています。平安時代初めの貞観2年(860年)に創建されて以来、公家や武家をはじめ、広く人々の崇敬を集めた石清水八幡宮、鎌倉時代に造られた木造阿弥陀如来坐像、江戸時代に松花堂昭乗によって造られた松花堂など数々の文化財が静かにたたずんでいます。また、八幡産の竹を白熱電球に使ったトーマス・アルバ・エジソン、江戸時代の文人僧で寛永の三筆と称される松花堂昭乗、空への夢を追って飛行機の実用化を試みた二宮忠八は八幡と縁のある人物として有名です。

悠久の時を経て、それぞれの時代の中で育まれた歴史文化は、今も多くの人を魅了しています。

石清水八幡宮 Iwashimizu Hachiman-gu Shrine
「やわたのはちまんさん」として親しまれ、本社10棟が平成28年2月9日に八幡市で初めての国宝指定を受けました。本殿は現存する八幡造のなかで最古かつ最大規模。日本三大八幡宮のひとつとして数えられ、古代に成立した荘厳な社殿形式を保持しつつ、近世的な装飾を兼ね備えた完成度の高い神社建築として極めて高い価値を持つ建物です。



男山の峯に鎮座する国宝、
やわたのはちまんさん

草庵「松花堂」 Soan "Shokado"
石清水八幡宮の社僧であり、文化人でもあった松花堂昭乗が、晩年に男山山腹の泉坊に建てた草庵茶室。現在は松花堂庭園内に移築されています。草庵は京都府指定文化財、庭園は国指定史跡名勝。



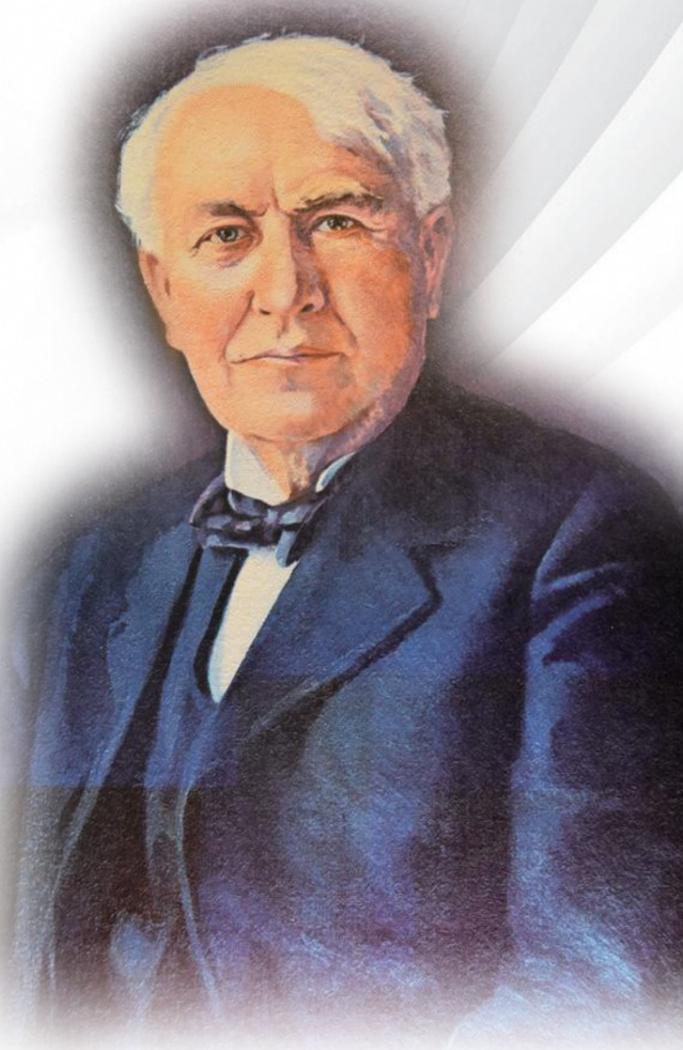
伊佐家住宅 Isa Family Residence
江戸時代の南山城地方における代表的な庄屋屋敷のひとつ。主屋は、享保19年(1734)に建築されました。厚さ約1メートルもある茅葺の屋根は必見です。重要文化財。



木造阿弥陀如来坐像 Statue of Amida Buddha
鎌倉時代に造られ、もとは八角堂の本尊として石清水八幡宮の山中にあった仏像。中背中生の説法印を結び、光背には13体の化仏を配した、約4.8メートルもある大作です。現在は正法寺に安置されています。重要文化財。



正法寺 Shohoji Temple
徳川家康公の側室であつたお亀の方の菩提寺。建久2年(1191)に開創され、天文15年(1546)には後奈良天皇の勅願寺となりました。また、彫刻・絵画など多数の重要文化財を有しています。本堂・大方丈・唐門は重要文化財。



トーマス・アルバ・エジソン(京都男山エジソン協会提供)

トーマス・A・エジソン
Thomas Alva Edison

世界の発明王として知られるエジソン。彼の発明品の一つである白熱電球には、八幡の竹が使われています。八幡の竹を炭化したフィラメントによってつくられた白熱電球は、世界に画期的な光をもたらしました。そして、エジソンの功績を後世に伝えるため、1934年に「エジソン記念碑」が男山展望台に建立されました(現在は石清水八幡宮境内に移設)。この縁で、八幡市はエジソン生誕の地である米國オハイオ州のマイラン村と友好都市協定を結んでいます。



エジソン電球



エジソン記念碑

松花堂 昭乗 Shokado Shojō
松花堂昭乗は、石清水八幡宮を峰に頂く男山の僧坊・瀧本坊の住職をつとめた社僧です。また、書や絵画、茶の湯、和歌などを得意とした人物で、特に書に関しては、本阿弥光悦・近衛信尹と並んで「寛永の三筆」に数えられました。書をはじめとする文化を通じて、当代一流の文化人たちと交流したことで知られます。昭乗が好んだとされる四つ切箱は複数の写しがあり、後に、松花堂弁当の器に転用されました。



「松花堂昭乗自画像写」部分(松花堂美術館蔵)

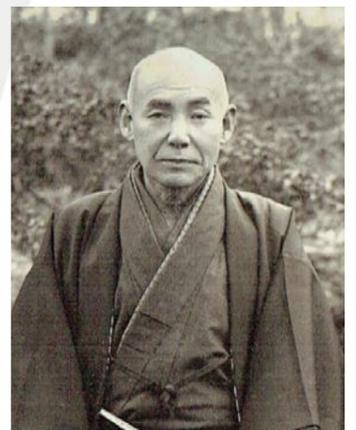


松花堂好四つ切塗箱(松花堂美術館蔵)



松花堂昭乗 筆「鎮西八郎為朝像」部分(松花堂美術館蔵)

二宮 忠八 Chuhachi Ninomiya
ライト兄弟よりも先に飛行原理を発見し、飛行機の開発に尽力した航空界のパイオニア的人物。日本人初のゴム動力によるカラス型飛行器や、人が乗れる玉虫型飛行器を考案し、飛行機の実用化を試みていました。また、空の安全を願って自宅地内に、日本で唯一の航空安全の神社である飛行神社を創設しました。



二宮 忠八(飛行神社提供)



飛行神社



カラス型飛行器模型

八幡ゆかりの
偉人の足跡をたずねて
人物